

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月13日

上場会社名 株式会社 シャルレ  
 コード番号 9885 URL <http://www.charle.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表執行役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(氏名) 岡本 雅文  
 (氏名) 岩永 信幸

TEL 078-792-8565

上場取引所 大

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	20,946	—	1,922	—	1,946	—	1,423	—
20年3月期第3四半期	40,827	△4.7	2,394	103.2	2,617	84.6	△1,573	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	73.46	—
20年3月期第3四半期	△81.17	—

(注)平成19年11月30日付でギフト卸売事業を当社企業グループ外に譲渡したため、当四半期の売上高は前年同四半期と比較して減少しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
21年3月期第3四半期	23,422	986.22	19,109	986.22	81.6	986.22
20年3月期	23,672	945.90	18,331	945.90	77.4	945.90

(参考)自己資本 21年3月期第3四半期 19,109百万円 20年3月期 18,331百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	30.00	30.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

平成20年12月17日に公表しましたとおり、当社普通株式に対する公開買付けが不成立となったことに伴い、当期の期末配当予想を1株当たり30円に修正し併せて株主優待制度につきましても継続することといたしました。

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,560	△42.7	1,730	△32.1	1,780	△36.6	1,110	—	57.28

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

①会計基準等の改正に伴う変更 有

②①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	21,034,950株	20年3月期	21,034,950株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	1,658,221株	20年3月期	1,654,615株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	19,379,364株	20年3月期第3四半期	19,380,482株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】3.業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2.当社は、平成20年10月1日付で子会社のレディースインナー等卸売事業を吸収分割し、持株会社から事業持株会社に移行すると同時に、商号を株式会社シャルレに変更しました。なお、旧商号は株式会社テン・アローズであります。

3.平成20年9月22日から平成20年12月16日の期間に行われた当社普通株式に対する公開買付けは不成立となりました。なお、当社取締役会は当初公開買付けに賛同の意見を表明していましたが、その後、賛同意見を留保し、最終的には賛同できない旨、意見を変更するに至りました。本件に関する経緯および詳細は、当社のホームページに公表文書を掲載しておりますので、ご参照下さい。

4.当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、サブプライム問題に端を発した世界的な金融不安や株価の大幅な下落、更には円高の影響による輸出の減少などにより、とくに基幹産業である製造業を中心とした大幅な減産、設備投資の抑制、雇用の縮小が行われるなど、景気の減速感が顕著になり、今後の経済情勢は極めて深刻な状況にあります。

このような環境のもと、当社企業グループは、レディースインナー等卸売事業を柱とし、業績の回復を最優先事項と位置付け、その事業運営を積極的に進めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間における当社企業グループの売上高は209億46百万円、営業利益は19億22百万円、経常利益は19億46百万円、四半期純利益は14億23百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるレディースインナー等卸売事業におきましては、シャルレの創業精神である「お客様第一主義」のもと、「シャルレブランド再構築と商品力強化」「特約店の活動活性化」「愛用者基盤の拡大」など、商品面、組織面、営業面などにおいて全社一丸となる目標を掲げ、ビジネスメンバー（代理店、特約店、ビジネスメイト）への徹底した意識の共有化を継続して実施してまいりました。また、当社の強みである「着心地のよさ」と「着けたときの美しさ」を訴求した「さらに心地よく、もっときれいに。」というブランドメッセージを継続して発信してまいりました。

商品面におきましては、昨年発売しました「花シャルレ」シリーズの更なる需要喚起を目的に、追加サイズ、コーディネート商品、インナー・ショーツ類の新商品、新カラースポット商品などの新たな周辺アイテムを順次に発売しましたが、計画を下回る実績となりました。品番別では、ファンデーションをはじめとする定番商品は、近年続いている売上の下降トレンドに加えて、景気の悪化なども影響し、総じて低調に推移いたしました。一方、化粧品におきましては、新商品として、美白美容液やヘアケア商品（シャンプー、コンディショナー、トリートメント）を発売したことなどにより、好調に推移しました。

営業施策面におきましては、秋冬の需要期である10月～12月の3か月間に、シャルレビジネス本来の「組織の活性化」と「販売力の強化」を目的に、インセンティブ施策を実施し、ビジネスメンバーの意欲の喚起を図りました。また、同期間に「化粧品の販促強化」を目的に、「エタリテ5周年記念」プレゼントキャンペーンを実施し、化粧品の拡販を図りました。

このように積極的な事業活動を展開いたしましたが、かねてからの定番商品不振に加え、急激な景気の悪化などが影響し、レディースインナー等卸売事業の売上高は208億35百万円、営業利益は25億40百万円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

総資産は、有価証券の増加20億48百万円、商品の減少6億23百万円、投資有価証券の減少8億63百万円等により、前連結会計年度末に比べ2億49百万円減少して234億22百万円となりました。

負債は、未払金の減少3億46百万円、未払法人税等の減少3億56百万円、賞与引当金の減少2億29百万円等により、前連結会計年度末に比べ10億27百万円減少して43億12百万円となりました。純資産は、四半期純利益14億23百万円、利益配当金5億81百万円等により、前連結会計年度末に比べ7億77百万円増加して191億9百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の77.4%から81.6%に増加しました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前期末に比べ47億49百万円増加し、106億18百万円となりました。

##### ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られたキャッシュ・フローは、16億52百万円となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益21億93百万円、たな卸資産の減少額6億19百万円、法人税等の支払額7億80百万円であります。

##### ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により得られたキャッシュ・フローは、37億6百万円となりました。主な要因は、定期性預金の減少額26億円、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入9億31百万円であります。

##### ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により使用されたキャッシュ・フローは、6億6百万円となりました。主な要因は、配当金の支払額6億3百万円であります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年2月6日に公表しました通期の連結業績予想の数値に変更はありません。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ①簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法は、年度予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法としております。

##### ②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

法人税等ならびに繰延税金資産および繰延税金負債算定にあたり、加味する加減算項目や税額控除項目を、重要なものに限定しております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。これによる損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,501	5,600
売掛金	88	42
有価証券	5,116	3,068
商品	3,657	4,281
繰延税金資産	1,353	1,583
その他	356	441
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	16,072	15,016
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,380	1,523
土地	907	1,009
その他（純額）	74	83
有形固定資産合計	2,363	2,616
無形固定資産	380	438
投資その他の資産		
投資有価証券	2,797	3,661
前払年金費用	1,217	1,172
その他	632	824
貸倒引当金	△41	△57
投資その他の資産合計	4,606	5,601
固定資産合計	7,349	8,655
資産合計	23,422	23,672
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,176	1,189
未払金	1,240	1,587
未払法人税等	47	404
事業整理損失引当金	—	47
賞与引当金	124	354
その他	355	459
流動負債合計	2,944	4,042
固定負債		
長期借入金	25	25
退職給付引当金	1,145	1,072
売上割戻引当金	197	199
固定負債合計	1,367	1,297
負債合計	4,312	5,340

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,600	3,600
資本剰余金	4,897	4,897
利益剰余金	12,225	11,383
自己株式	△1,200	△1,198
株主資本合計	19,522	18,682
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△469	△409
為替換算調整勘定	56	58
評価・換算差額等合計	△412	△350
純資産合計	19,109	18,331
負債純資産合計	23,422	23,672

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	20,946
売上原価	11,076
売上総利益	9,869
販売費及び一般管理費	7,947
営業利益	1,922
営業外収益	
受取利息	93
受取配当金	1
その他	19
営業外収益合計	114
営業外費用	
有価証券売却損	65
その他	24
営業外費用合計	89
経常利益	1,946
特別利益	
固定資産売却益	221
貸倒引当金戻入額	6
事業整理損失引当金戻入額	14
債務勘定整理益	11
特別利益合計	253
特別損失	
固定資産除却損	7
特別損失合計	7
税金等調整前四半期純利益	2,193
法人税、住民税及び事業税	475
法人税等調整額	294
法人税等合計	769
四半期純利益	1,423

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,193
減価償却費及びその他の償却費	316
受取利息及び受取配当金	△95
有価証券売却損益 (△は益)	65
固定資産除却損	7
固定資産売却損益 (△は益)	△221
売上債権の増減額 (△は増加)	△45
たな卸資産の増減額 (△は増加)	619
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△44
仕入債務の増減額 (△は減少)	△12
未払金の増減額 (△は減少)	△106
前受金の増減額 (△は減少)	△136
預り金の増減額 (△は減少)	31
未払消費税等の増減額 (△は減少)	25
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	72
その他	△115
小計	2,552
利息及び配当金の受取額	96
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△780
事業再編による支出	△58
たな卸資産自主回収による支出	△158
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,652
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の増減額 (△は増加)	2,600
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	931
有形固定資産の売却による収入	372
有形固定資産の取得による支出	△42
無形固定資産の取得による支出	△121
関係会社出資金の払込による支出	△20
その他	△12
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,706
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△603
その他	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△606
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,749
現金及び現金同等物の期首残高	5,869
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,618

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期連結会計期間および当第3四半期連結累計期間において、レディースインナー等卸売事業の売上高および営業利益は、全セグメントの売上高の合計および営業利益の金額の合計に占める割合がいずれも90%超であるため、記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期連結会計期間および当第3四半期連結累計期間において、本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、記載を省略しております。

〔海外売上高〕

当第3四半期連結会計期間および当第3四半期連結累計期間において、海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(単位:百万円)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額
I 売上高	40,827
II 売上原価	26,104
売上総利益	14,722
III 販売費及び一般管理費	12,327
営業利益	2,394
IV 営業外収益	274
受取利息及び配当金	118
有価証券売却益	38
ギフト券未交換益	54
その他	62
V 営業外費用	51
支払利息	34
その他	17
経常利益	2,617
VI 特別利益	21
投資有価証券売却益	11
保険解約益	10
VI 特別損失	3,458
たな卸資産評価損	704
たな卸資産処分損	56
固定資産除売却損	10
事業整理損失引当金繰入額	142
事業整理損	2,544
税金等調整前四半期純損失	819
法人税等	753
少数株主利益	0
四半期純損失	1,573

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書  
前第3四半期(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(単位:百万円)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失	△819
減価償却費	152
無形固定資産・長期前払費用償却費	308
受取利息及び配当金	△118
支払利息	34
有価証券売却損益(利益:△)	△50
固定資産除売却損	10
事業整理損	2,544
売上債権の増減額(増加:△)	215
たな卸資産の増減額(増加:△)	1,053
旅行積立金の増減額(減少:△)	△19
仕入債務の増減額(減少:△)	△68
未払金の増減額(減少:△)	△630
前受金の増減額(減少:△)	77
未払消費税等の増減額(減少:△)	△50
前払年金費用の増減額(増加:△)	△99
売上割戻引当金の増減額(減少:△)	4
退職給付引当金の増減額(減少:△)	62
その他	△1,131
小計	1,476
利息及び配当金の受取額	123
利息の支払額	△35
法人税等の支払額	△1,808
営業活動によるキャッシュ・フロー	△243

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期性預金の増減額 (増加: △)	△1,165
有価証券の売却・償還による収入	1,242
有価証券の取得による支出	△9
有形固定資産の売却による収入	8
有形固定資産の取得による支出	△153
無形固定資産の取得による支出	△54
保険関連収入	10
連結除外による影響額	△108
その他	58
投資活動によるキャッシュ・フロー	△171
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の増減額 (減少: △)	△3,999
長期借入金返済による支出	△251
配当金の支払額	△553
その他	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,805
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△0
V 現金及び現金同等物の増減額 (減少: △)	△5,221
VI 現金及び現金同等物の期首残高	10,130
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	4,908

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

	レディースイン ナー等卸売事業 (百万円)	ギフト 卸売事業 (百万円)	その他 の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対す る売上高	23,494	17,237	96	40,827	—	40,827
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	3	15	18	(18)	—
計	23,494	17,240	111	40,846	(18)	40,827
営業費用	20,759	17,192	307	38,260	172	38,432
営業利益又は営業損 失(△)	2,734	47	△196	2,585	(190)	2,394

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第3四半期（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。